

indicio

証明済み[®]

ユーザーガイド

はじめに

[Indicio Proven™](#)は、トラステッド・デジタル・エコシステム（TDE）を確立するためのツールを提供します。すぐに、ユーザー・クレデンシャルの発行、検証、管理ができます。一旦ユーザ・クレデンシャルを取得すれば、既知の人物またはエージェントと作業していることを信頼できるため、他のワークフローが可能になります。

発行者の役割は、コンタクトに招待を送り、ユーザ認証情報を提供することである。発行者はコンタクトの管理も行う。

ホーム

管理画面にログインすると、ホームページが表示されます。ユーザークレデンシャルを発行するには、まずドロップダウンリストからユーザークレデンシャルを選択します。ユーザ・クレデンシャルが表示されない場合は、ブラウザの更新が必要な場合があります。次に「発行」をクリックします。表示されたQRコードをモバイル ID ウォレット・アプリでスキャンする。フォームに入力し、[送信] をクリックします。提示されたクレデンシャルをモバイル・デバイスで承認します。

招待状

indicio

この選択は、このProvenのインスタンスによって生成されたすべての招待QRコードのリストを表示するだけです。

連絡先

連絡先は、証明書発行者と他のエージェントアプリケーション間の接続です。すべてのソフトウェアに編集可能なラベルが含まれているわけではありません。そのため、一部の連絡先には個人名ではなくソフトウェア名が表示されます。連絡先を最初にクリックすると、以下の情報が表示されます：

- 連絡先名：モバイルアプリのユーザー名
- 接続状況：
 - 招待：招待状が送信された
 - リクエスト：第2パーティが招待を受け取り、接続をリクエストしている。
 - 応答：システムは、接続設定を完了するための詳細を返信しました。
 - アクティブ：相手側が接続を承認した。
- **Created At:** 招待状が送信された日時。

特定の連絡先をクリックすると、詳細情報が表示されます。このインターフェースを使用して、メイン URL を使用して Proven に接続したユーザにクレデンシャルを発行できます。画面の下部には、ユーザーに発行されたすべてのクレデンシャルのセクションがあります。

発行されたクレデンシャルの詳細情報を表示するには、そのクレデンシャルをクリックする。これにより、クレデンシャル名、ID、状態、および作成日などが表示される。また、ユーザ・クレデンシャルのさまざまな部分やクレデンシャルが検証された日付など、特定の属性も表示される。

資格証明書

クレデンシャルは暗号化されたデータである。クレデンシャル]タブが表示されると、[ステータス]列に以下のいずれかが表示される:

- オファー送信: クレデンシャルが作成され、モバイルアプリのユーザーに接続が送信される。
- クレデンシャルを受領: モバイルアプリのユーザーがオファーを承認し、クレデンシャルの要求を送信した。
- クレデンシャルの発行: システムがクレデンシャルを作

成した。クレデンシャルをクリックすると詳細情報が表

示されます。

クレデンシャルの発行

クレデンシャルは、ホーム・ページのワークフロー・セクションまたは選択したコンタクト・ページの同様の方法を使用して発行することができる。どちらの方法もクレデンシャルを選択するドロップダウン・メニューを提供するが、ワークフロー・セクションは、メニューからクレデンシャルを選択した後、表示された QR コードを介して接続を確立する必要がある。その後、ユーザーが選択したクレデンシャルの属性値を提

供するためのフォームが表示される。フォームを提出すると、クレデンシャルが発行される。

ほとんどのクレデンシャルはこのフローに従うが、一部のクレデンシャル（電子メールなど）は発行前に追加の手順を必要とする場合があることに注意することが重要である。

ユーザー

ユーザー]タブには、Proven Issuer管理システムにアクセスできるすべてのユーザーのリストが表示されます。新しいユーザは、Adminロールを持つ人なら誰でも作成できます。

新規ユーザー作成

1. 右下にある(+)**を**クリックする。
2. **E**メールを入力
3. 役割を選択する
 - 管理者: 発行者にすべての権利を与える
 - 技術者: 連絡先の追加と認証情報の発行の制限
4. 送信をクリックする

招待状は発行後24時間のみ有効です。その時間内に新規ユーザーがサインインしない場合は、再送信欄の封筒を押して招待状を再発行してください。

ユーザーネームは、新規ユーザーが初めてログインする際に設定されます。

編集ユーザー

1. 編集記号をクリック
2. 必要なフィールドを編集する: Eメール、ユーザー名、役割
3. 送信をクリックする

ユーザー削除

ユーザーを削除したい場合は、以下の手順に従ってください：

1. 削除マークをクリック
2. 削除をクリックして、ユーザーを削除することを確認します。

設定

設定]では、管理者は組織のブランディングに合わせて画面をカスタマイズすることができます。以下はそのオプションと説明である：

- 組織の詳細
 - 組織名：左のロゴの下に表示されているもの
 - ウェブサイトのタイトル：ブラウザのタブに表示される名前
- ロゴの変更：これは、透明であるか、管理システムの背景（デフォルトの背景色は白、#ffffff）と一致する背景を持つ、適切にフォーマットされた画像ファイルを取ります：
 - ロゴの変更：メールストリーム上と左側。
 - **192×192**のロゴを変更：デスクトップではなくモバイルデバイスを使用する場合に使用します。
 - ロゴの変更 **512 x 512**: モバイルデバイス用に使用。
 - **favicon.io**の更新：ブラウザのタブで名前の横にある画像。
- ウェブアプリマニフェスト：ウェブアプリマニフェストは、管理ポータルをシングルページアプリケーションとして扱うデバイス（モバイルデバイスなど）にアプリ情報を提供します。

- 略称
- 氏名
- テーマカラー
- 背景色

設定（続き）

- **SMTP** 設定: これは、ユーザにクレデンシャルおよび招待を送信するときに使用される電子メール・アカウントである。クレデンシャル招待を発行する前に設定する必要があります。あなたの会社に返信不要の電子メールがある場合、ここでそれを使用してもかまいません。
 - **Host:** 必須フィールド - 接続先のホスト名またはIPアドレス（デフォルトは「localhost」）。
 - メールユーザー名: 必須フィールド - ユーザー名（Gmailアカウントの場合、メールユーザー名はユーザーメールと同じでなければなりません、例: johndoe@example.com）。
 - ユーザーEメール: 必須フィールド - ユーザーのEメール
 - ユーザーパスワード: 必須フィールド - メールアカウントのパスワード（Gmailアカウントを使用している場合はアプリのパスワード）。
 - **Port:** オプション・フィールド - 電子メール・システムが電子メール送信要求を受け付ける際に使用するポート（Encryption Typeがfalseの場合、デフォルトは587、trueの場合は465）。
 - **Encryption:** オプション・フィールド - trueの場合、サーバーへの接続時にTLSを使用します。falseの場合(デフォルト)、サーバーがSTARTTLS拡張をサポートしていればTLSが入力されます。ほとんど

の場合、ポート465に接続する場合はこの値を`true`に設定します。ポート587または25の場合は`false`のままにしてください。

設定（続き）

- テーマ：テーマは、さまざまな要素の色を変更します。以下は、可能性と影響を受ける要素のリストです：
 - 原色：アクションボタン（送信、確認、保存、編集など）、現在のタブの色、ユーザー名。
 - セカンダリーカラー：タブのホバーオーバー、ツールチップシンボル。
 - 三次色：ホームページのホバーオーバーの色。
 - ニュートラルカラー：無効なボタンとフォーム要素。
 - ネガティブカラー：ポップアップする警告、削除ボタン、キャンセルボタン。
 - 警告色：取り消しボタン。
 - ポジティブカラー：飛び出す成功。
 - テキストの色：ツールチップを除くすべてのテキスト。
 - テキストライト：ボタン上のテキスト
 - ボーダー：アプリケーションに見られるほとんどのボーダーライン。
◦ "1px solid #ddd" のような完全なCSS宣言を使用します。
 - ドロップシャドウ：アプリケーションの様々なボックスの一部。
◦ "3px 3px 3px rgba(0, 0, 0, 0.3)" のような完全なCSS宣言が必要です。
 - 主背景：すべてのボックスの背景。

。セカンダリーバックグラウンド：テーブルの他のすべての行。

すべての変更が完了したら、「保存」をクリックします。